

平成22年度 西日本高速道路株式会社事業評価監視委員会
議事要旨

1. 開催日時 平成22年12月13日(月) 10:00~11:40

2. 場所 西日本高速道路株式会社 19階 会議室

3. 出席者 [委員] 斎藤委員長、戸田委員、中瀬委員
[弊社] 西村社長、酒井専務、奥平専務 他

4. 議 事

➤ 西日本高速道路株式会社事業評価監視委員会運営要領の変更案については了承

➤ 下記の区間に関する再評価について審議

《再評価1区間》

・中国横断自動車道姫路鳥取線(播磨新宮~山崎JCT)

➤ 対応方針(案)については了承

➤ 主な意見

- ・ルート選定にあたって、播磨科学公園都市の立地等環境の保全に配慮したルートになっているとの強調があってもいいのではないかと。
- ・リダンダンシーについて他の道路の考慮も必要。
- ・評価区間の整備が播磨科学公園都市のまちづくりに具体的にどう結びついてくるかの整理が必要。
- ・道路の整備により時間短縮の効果はあるが、移動距離が伸びることにより走行経費はかかってしまうことのバランスについての説明が必要。
- ・播磨科学公園都市についてはスプリング8に産学官連携の話もあり、まちづくりの更なる可能性はある。
- ・当該地域周辺において過去に昆虫類の新種が発見されていると聞いている。ぜひ今後、詳細な調査を行ってほしい。
- ・自然環境面での調査については、次回以降の再評価の機会に報告していただきたい。
- ・環境に対する負荷をなるべく小さくするよう努力するというような項目も大事。
- ・鳥取・兵庫・京都に跨る海岸部が山陰海岸ジオパークとして登録されたこともあり、評価路線は岡山・姫路からの広域観光ネットワークの重要な路線になる。今後そういった観光の要素も整理していただきたい。
- ・観光等の間接効果については継続的に調査を行っていくべき。

- ・ 局所的な効率性も大事だが、中長期的には地域社会経済に大きなネットワーク効果をもたらすという目標達成の視点での評価もすべき。
- ・ 区間区間ごとで評価を行うとB / Cが1 . 0下回る場合でもネットワーク全体として評価をすれば1 . 0を上回ることもあり、評価作業についてはそういったことを念頭にいれながら取り組んでいく必要がある。